



菅野 奈津子さん

気仙沼市 「女性が働きやすい会社」社長

テレワークを中心に、女性の働き方の選択肢を増やす事業を展開する。中小企業から外部委託されたデザインや事務などの仕事を受注。メンバーに業務を振り分け、伴走しながら責任を

かんの・なつこ 埼玉県内の短大を卒業後、大学職員や保険会社、デザイン業などを経て、2012年に帰郷。22年に「女性が働きやすい会社」を設立した。気仙沼市出身。45歳。

働き方の選択肢増やす

持つて納品までサポートする。 「子育てや親の介護などでキャリアの変更を迫られる女性は多い。地方に住んでいても、やりがいを持つて柔軟に働ける環境を整えたい」と力を込める。 自らもテレワークで働きながら小学生の娘を1人で育ててきた。東日本大震災の翌年に帰郷してからは、首都圏でグラフィックデザイナーとして勤務した経験を生かし、自宅でデザイン関連の仕事に取り組んできた。 「時間のやりくりがうまくでき、身近にない職種にも挑戦できる」。こうした働き方が、地方でも当たり前に行ける環境をつくらうと22年に起業。現在は約15人のメンバーと共に、動画やホームページの作成といったさまざまな依頼に応じている。 「そんなビジネス成り立つの？」と懐疑的な声をかけられることもあるが、「『私なんて』と悲観的だった女性が自信を取り戻していく姿を見るのがうれしい」と手応えを感じる。理念に共感してくれる企業と手を組み、事業拡大に挑んでいる。 「バツイチ」ではなく「まるいち」と名付けたコミュニティも主宰する。ひとり親同士が思いを分かち合い、助け合える関係を目指しているという。